



平成 28 年
1 月 25 日版

東北大学

Tohoku University

文部科学省 博士課程教育リーディングプログラム 複合領域型 (安全安心)
Program for Leading Graduate Schools, MEXT
Multidisciplinary Field of Safety and Security

グローバル安全学トップリーダー育成プログラム

Inter-graduate School Doctoral Degree Program on

Science for Global Safety

募集要項

Application Guideline

平成 28 年度

Academic Year 2016

東北大学学位プログラム推進機構リーディングプログラム部門
グローバル安全学教育研究センター
宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 6 - 6

Division for Leading Graduate School Programs,
Tohoku University Institute for Promoting Graduate Degree Programs
Center for Education and Research on Global Safety
6-6, Aramaki Aza Aoba Aoba-ku, Sendai, Miyagi

グローバル安全学トップリーダー育成プログラムについて (アドミッション・ポリシー)

東北地域に甚大な被害を与えた東日本大震災から四年以上が経過するが、被災地域の社会基盤や産業基盤の本格回復には至っていない。さらには原子力発電所の再稼働を含めたエネルギー政策の大転換を議論せざるを得ない状況となっている。現在の状況は、我国の将来を決める決定的ターニングポイントに差し掛かっているといても過言ではない。本学は、被災地に位置する大学として、東北復興を先導する大きな責任を負っていると共に、強い社会的要請である安全安心な社会の実現に向けて強い使命感を持っており、安全安心な社会構築に貢献できるリーダー養成を本学の使命と認識している。

東日本大震災の教訓として、科学技術のみによる防災の限界と社会科学的視点からの減災の重要性が明らかとなった。このことから、大震災からの復興や今後発生が予測される多様なリスクからの被害を抑制するには、科学技術の活用と、それを人間起点で社会システムに取り入れるための人文社会科学分野の貢献が重要である。

本プログラムの人材養成目的は、我国や世界が直面する、巨大地震や津波などの自然災害あるいは気候変動、エネルギーセキュリティなどの多様なリスクの発生メカニズムを理解し、複数の Science discipline を合目的に統合して、防災および減災などのための工学的・社会科学的システム設計ができるグローバル安全学分野のトップリーダー人材を育成することである。この目的のために、科学・技術・人文社会科学の研究者が連携したプログラムにより、「安全安心を知る」、「安全安心を創る」、「安全安心に生きる」という3つの視点からリーダーを養成する。

本プログラムは、博士課程前・後期（5年）一貫の教育プログラムであり、地球惑星科学・環境科学をはじめとする自然科学、土木工学・都市・建築学・機械工学などをはじめとする工学、哲学・心理学・倫理・公共政策分野を中心とした3つの学術コアとその複合領域において、安全安心な社会構築の視点で東北復興の先導に貢献できる人材の育成や、人類社会の持続性に寄与すると共に、産業・社会システムの構築による安全安心な社会の構築に寄与できる人材育成を行う。

本プログラムでは、安全安心を「知る」「創る」「生きる」三つのユニットに対応して、次の3つのコースを設ける。

- 自然災害科学コース
- 安全・安心工学コース
- ヒューマンサイエンスコース

これらのコースにおいて、以下の能力をもつ人材

（金平糖型人材）の育成を目指す。

- ・先鋭化された研究を通じた専門能力の核（コア）を有すると共に、多様な課題解決のための应用能力（シェル）を有する人材
- ・課題設定と問題解決、研究開発、事業展開、グラウンド

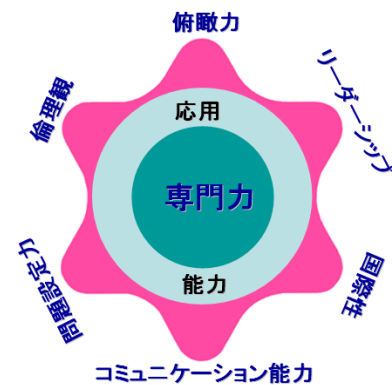


図1 金平糖型人材

デザインなどの筋道を自ら設定して実践する能力を有する人材

- ・ 事象を俯瞰して整理し、自身の考えを的確に相手に伝える能力を有する人材
- ・ 国際舞台でリーダーシップを発揮できる資質を有する人材
- ・ リーダーとしての倫理観と責任感を有する人材

上記の能力を持つリーダー人材において期待されるキャリアは以下のものを想定している。

- **「国際的企業リーダー」**: 国際的視野を持ち自然災害や経済リスクなど多様なリスクに対して的確な評価と対策を行うことができ事業継続マネジメントが可能なリーダー
- **「アカデミックリーダー」**: コアディシプリンにおける国際レベルの研究者であると共に、広い視点から学問を教授できるリーダー
- **「国・地域防災リーダー」**: 行政機関・研究所や防災センターなどにおいて国家や地域の防災政策をリードするリーダー
- **「国際的リスク管理リーダー」**: 国際機関などで世界的視点から多様なリスクに対する危機管理が可能なリーダー

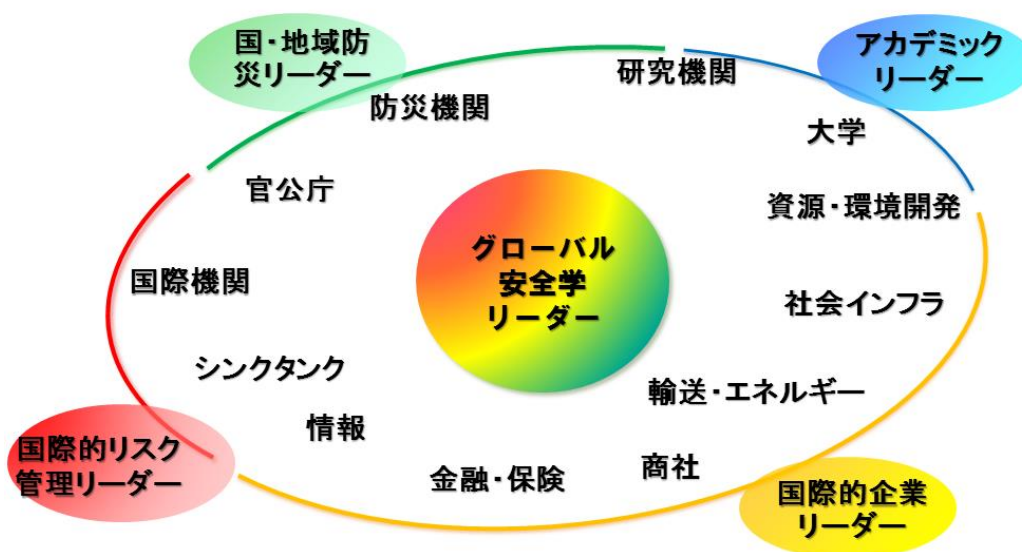


図2 修了後期待されるキャリアパス

I. 募集人員及び出願資格

I-1. リーディングプログラム院生の募集人員

今年度新規に採用するリーディングプログラム院生（以下プログラム院生）は20名程度とする。

願書を提出した学生に対して書類選考および面接選考を行い、4月以降のプログラム院生を20名程度選抜する。

I-2. 出願資格

- ・平成28年4月に表1の研究科・専攻の博士前期課程に入学予定の者。※
- ・平成27年度に表1の研究科・専攻の博士前期課程1学年に在籍している者。
- ・平成28年度に表1の研究科・専攻の博士後期課程に進学予定または他大学等から編入学予定の者。※

※ただし、大学院入試の合否が出願締切後に発表される者についても出願は可能とする。

博士後期課程より、本リーディングプログラム院生となった学生の履修要件については、「VI.博士後期課程からの編入生の履修要件について」を参照のこと。（2016年1月25日追記）

注) 本プログラムは、平成31年3月に終了予定であり、博士課程修了時までの支援を約束するものではありません。 プログラム終了に伴う対応については、現在検討中です。

表1 グローバル安全学トップリーダー育成プログラムに参画している研究科・専攻

文学研究科	文化科学専攻、人間科学専攻、歴史科学専攻
法学研究科	法政理論研究専攻
経済学研究科	経済経営学専攻
理学研究科	天文学専攻、地球物理学専攻、地学専攻
工学研究科	機械システムデザイン工学専攻、ナノメカニクス専攻、航空宇宙工学専攻、量子エネルギー工学専攻、電気エネルギーシステム専攻、化学工学専攻、土木工学専攻、都市・建築学専攻、技術社会システム専攻、バイオリボティクス専攻、機械機能創成専攻、ファインメカニクス専攻、ロボティクス専攻
情報科学研究科	応用情報科学専攻、人間社会情報科学専攻
環境科学研究科	先進社会環境学専攻、先端環境創成学専攻
医工学研究科	医工学専攻

Ⅱ. リーディングプログラム院生の募集

Ⅱ-1. 出願書類

以下の(1)～(2)を本プログラムのホームページより入手すること。

(1) 出願書類 1式

(2) 募集要項 1部

URL <http://www.g-safety.tohoku.ac.jp>

配布期間：平成28年1月12日(火)～2月10日(水)

Ⅱ-2. 出願手続

東北大学グローバル安全学教育研究センター事務室に、願書一式を調べて受付期間内に提出すること。

受付場所(送付先)：

〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-11

東北大学工学研究科 総合研究棟9階

東北大学グローバル安全学教育研究センター 事務室

直接持参する場合は、下記のURLにて場所をご確認ください。

<http://g-safety.tohoku.ac.jp/access/>

受付期間：平成28年1月27日(水)～2月10日(水)9時～17時

(最終日2月10日は正午受付終了)

※郵送の場合も、2月10日(水)必着とする。

出願者に対しては、後日メールにて受験番号を通知する。

Ⅱ-3. プログラム院生の選抜方法

出願者が提出する出願理由書及び願書・指導教員の推薦書等による書類審査、ならびに面接審査を行って選抜する。面接審査は平成28年3月4日(金)に行う。詳細は、申請者に別途通知する。

Ⅱ-4. プログラム院生の合格発表

平成28年3月中旬以降にグローバル安全学トップリーダー育成プログラムのホームページ上で発表する。

URL <http://www.g-safety.tohoku.ac.jp>

Ⅲ. 奨励金の支給

国内外の優秀な学生を獲得し、主体的に独創的な研究を計画・実践させ、グローバルに活躍するリーダーを養成するため、本学位プログラムに選抜された優秀な博士課程学生への支援経費として奨励金を支給する。

支給金額については、選抜審査の成績等に基づき決定し、以後、毎年審査により支給金額を決定する。

Ⅳ. 博士論文研究基礎力審査

入学後、一定の時期に、学業成績・単位取得状況・英語能力等の審査（博士論文研究基礎力審査 Qualifying Examination: QE）を実施する。審査に不合格となった場合にはリーディングプログラム院生の資格を失うので、所属する研究科の卒業要件をよく理解した上で応募すること。

Ⅴ. プログラム院生決定までの流れ

上記の手順を図示すると以下のとおりである。

時期	手続き項目
H28年	
1月12日～	出願書類・募集要項の配布 (グローバル安全学教育研究センターホームページ)
	↓
1月27日～2月10日	出願書類の受付 (グローバル安全学教育研究センター事務室)
	↓
3月4日	プログラム履修生の選抜 (面接審査)
	↓
3月中旬～	プログラム履修生の合格発表 (グローバル安全学教育研究センターHP)
	↓
4月	平成28年度入学生プログラム開始

VI. 博士後期課程からの編入生の履修要件について (2016年1月25日追記)

リーディングプログラム3年次(D1)より編入した学生が、3・4・5年次のリーディング科目に加えて、修得しなければならない1・2年次のリーディング科目は、以下のとおりです。

【基幹科目】

- ・グローバル安全学 I、II を含む2単位以上

【マルチディシプリナリ科目】

- ・実践的防災学国際講義 I、II から2単位以上、

【研修科目】

- ・Cラボ研修から2単位以上
- ・グローバルコミュニケーションスキル研修 I、II (各2単位)

※TOEIC, TOEFL (ITP 含む) 等の客観的な学力指標が一定以上ある場合には、英語研修は免除される場合がある。